

特別企画：第 16 回兵庫県メインバンク調査**尼崎信金がシェア拡大トップ****～メガバンクシェアは 6 年連続減少～****はじめに**

2018 年もマイナス金利による貸出金利低下などで、金融機関にとって厳しい経営環境が続いている。全国の上場地方銀行 80 行の 2018 年 9 月期の中間決算では、全体の約 7 割に当たる 55 行が減益となった。そのため、各金融機関ではフィンテックなど IT 化の推進、活動基盤の拡大に伴う越境融資など、生き残りに向けた施策が続けられている。

こうしたなか、十八銀行がふくおかフィナンシャル・グループ (FG) 傘下に入る形での経営統合が公正取引委員会から正式に認められた。同グループは 2019 年 4 月に経営統合を実現させる見通しで、さらに 2020 年には長崎県を地盤とする傘下の親和銀行と十八銀行の経営統合を計画している。この統合は、今後同一県内での地方銀行再編におけるモデルケースとなる公算が大きい。他方では地域金融サービスの寡占・独占による貸出金利の上昇など需要者の不利益も懸念され、地域金融機関には企業との関係構築・深化がより一層求められることとなる。

帝国データバンク神戸支店では、2018 年 11 月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている企業 (147 万社) のうち、兵庫県内に本店を置く企業が、メインバンクと認識している金融機関を抽出し、集計した。

なお、今回の対象企業数は前年より 398 社増加の 5 万 1597 社。

注) 本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なる。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関のみを集計した。

調査結果（要旨）

1. 兵庫県内のメインバンク企業数最多は、「三井住友銀行」が1万450社で全体の20.25%を占め、16年連続のトップとなった。以下「みなと銀行」「尼崎信用金庫」と続く。
2. 増加数トップは、「尼崎信用金庫」が113社増加の4296社で、シェアも0.16ポイント増の8.33%。2位は「但陽信用金庫」で40社増加、3位は「姫路信用金庫」で39社増加。減少数トップは「三井住友銀行」の90社減少で、シェアも0.34ポイント減。
なお、メガバンクシェアは27.89%（前年比0.41ポイント減）で、6年連続の減少。
3. 地区別では10地区に分類した中で、阪神南、阪神北、中播磨、西播磨、淡路、丹波の6地区が前年同様、地元信用金庫がトップ。県内11信用金庫と信用組合は、依然として地元企業との親密度を高く保っている。
4. 業種別にみると、7業種すべてで1位を「三井住友銀行」、2位を「みなと銀行」が独占した。3位は、製造業、卸売業、サービス業が「三菱UFJ銀行」、建設業、小売業、不動産業、運輸・通信業が「尼崎信用金庫」となっている。

1. 兵庫県内ランキング ～トップ10に変化なしも、6行がシェアダウン～

兵庫県に本店を置く企業のメインバンクは、**三井住友銀行**が調査開始以来16年連続トップで、企業数は1万450社となった。ただし、前年比では90社減少しており、シェアも0.34ポイント減の20.25%となった。

2位は、**みなと銀行**の6384社（15社減、シェア12.37%・0.13ポイント減）。

3位は、**尼崎信用金庫**の4296社（113社増、シェア8.33%・0.16ポイント増）で、企業増加数・シェア拡大幅ともトップとなった。

以下、4位**三菱UFJ銀行**（2852社・3社増、シェア5.53%・0.03ポイント減）、5位**姫路信用金庫**（2785社・39社増、シェア5.40%・0.04ポイント増）、6位**但馬銀行**（1990社・6社減、シェア3.86%・0.04ポイント減）、7位**播州信用金庫**（1920社・40社減、シェア3.72%・0.11ポイント減）、8位**兵庫信用金庫**（1835社・13社減、シェア3.56%・0.05ポイント減）、9位**日新信用金庫**（1667社・22社増、シェア3.23%・0.02ポイント増）、10位**但陽信用金庫**（1559社・40社増、シェア3.02%・0.05ポイント増）と続き、トップ10に変動はなかった。

なお、トップ30までで、前年より順位を上げたのは、**西兵庫信用金庫**（12位→11位）、**中兵庫信用金庫**（14位→13位）、**兵庫県信用組合**（17位→15位）、**北おおさか信用金庫**（28位→26位）の4行。

2. 増減社数・シェア分析 ～メガバンクのシェアは6年連続減少～

前年よりもメインバンクとして取引先企業数を伸ばした金融機関の上位は、1位が**尼崎信用金庫**の113社増加で、5年連続のトップ。2位は**但陽信用金庫**の40社増加で、以下3位**姫路信用金庫**(39社増)、4位**池田泉州銀行**(32社増)、5位**兵庫県信用組合**(24社増)となった。

また、シェア拡大のトップも**尼崎信用金庫**で0.16ポイントの増加となった。2位は**但陽信用金庫**と**池田泉州銀行**が0.05ポイントの増加。以下4位**姫路信用金庫**(0.04ポイント増)、5位**兵庫県信用組合**、**京都銀行**(0.03ポイント増)と続く。

一方、減少数が最多となったのは**三井住友銀行**で90社の減少。次いで**播州信用金庫**(40社減)、**りそな銀行**(17社減)、**みなと銀行**(15社減)、**みずほ銀行**(14社減)となった。また、シェア減少トップも**三井住友銀行**で0.34ポイントの減少。次いで**みなと銀行**が0.13ポイント減少となり、以下は**播州信用金庫**が0.11ポイント減少、**兵庫信用金庫**、**りそな銀行**、**みずほ銀行**がそれぞれ0.05ポイントの減少となった。

なお、メガバンクをメインバンクとする企業数は1万4388社で前年より101社減少し、シェアも0.41ポイント減少の27.89%となった。また、兵庫県内11信用金庫をメインバンクとする企業数は1万9539社で前年より197社増加し、シェアも0.09ポイント増の37.87%となった。

全行ランキング

順位	金融機関名	2017年		2018年		社数 増減	シェア 増減	順位	金融機関名	2017年		2018年		社数 増減	シェア 増減
		社数	シェア	社数	シェア					社数	シェア	社数	シェア		
1 (1)	三井住友	10,540	20.59%	10,450	20.25%	▲ 90	▲ 0.34	58 (55)	三菱UFJ信託	8	0.02%	7	0.01%	▲ 1	▲ 0.01
2 (2)	みなと	6,399	12.50%	6,384	12.37%	▲ 15	▲ 0.13	60 (60)	住信SBIネット	5	0.01%	6	0.01%	1	0.00
3 (3)	尼崎信金	4,183	8.17%	4,296	8.33%	113	0.16	(60)	全信組連	5	0.01%	6	0.01%	1	0.00
4 (4)	三菱UFJ	2,849	5.56%	2,852	5.53%	3	▲ 0.03	(59)	京都北都信金	6	0.01%	6	0.01%	0	0.00
5 (5)	姫路信金	2,746	5.36%	2,785	5.40%	39	0.04	63 (67)	滋賀	4	0.01%	5	0.01%	1	0.00
6 (6)	但馬	1,996	3.90%	1,990	3.86%	▲ 6	▲ 0.04	(60)	新生	5	0.01%	5	0.01%	0	0.00
7 (7)	播州信金	1,960	3.83%	1,920	3.72%	▲ 40	▲ 0.11	(60)	日生信金	5	0.01%	5	0.01%	0	0.00
8 (8)	兵庫信金	1,848	3.61%	1,835	3.56%	▲ 13	▲ 0.05	(60)	大同信組	5	0.01%	5	0.01%	0	0.00
9 (9)	日新信金	1,645	3.21%	1,667	3.23%	22	0.02	(60)	農林中金	5	0.01%	5	0.01%	0	0.00
10 (10)	但陽信金	1,519	2.97%	1,559	3.02%	40	0.05	68 (70)	京都中央信金	3	0.01%	4	0.01%	1	0.00
11 (12)	西兵庫信金	1,325	2.59%	1,344	2.60%	19	0.01	69 (89)	永和信金	1	—	3	0.01%	2	—
12 (11)	りそな	1,336	2.61%	1,319	2.56%	▲ 17	▲ 0.05	(76)	シティバンク	2	—	3	0.01%	1	—
13 (14)	中兵庫信金	1,174	2.29%	1,188	2.30%	14	0.01	(76)	のぞみ信組	2	—	3	0.01%	1	—
14 (13)	神戸信金	1,175	2.29%	1,187	2.30%	12	0.01	(70)	大分	3	0.01%	3	0.01%	0	0.00
15 (17)	兵庫県信組	1,066	2.08%	1,090	2.11%	24	0.03	(70)	広島信金	3	0.01%	3	0.01%	0	0.00
16 (15)	みずほ	1,100	2.15%	1,086	2.10%	▲ 14	▲ 0.05	(67)	鳥取	4	0.01%	3	0.01%	▲ 1	0.00
17 (16)	淡路信金	1,076	2.10%	1,070	2.07%	▲ 6	▲ 0.03	(60)	印度	5	0.01%	3	0.01%	▲ 2	0.00
18 (18)	池田泉州	813	1.59%	845	1.64%	32	0.05	76 (—)	ソニエテジェ ネラル信託	0	—	2	—	2	—
19 (19)	但馬信金	691	1.35%	688	1.33%	▲ 3	▲ 0.02	(89)	福岡	1	—	2	—	1	—
20 (20)	農協	610	1.19%	615	1.19%	5	0.00	(89)	SBJ	1	—	2	—	1	—
21 (21)	淡陽信組	459	0.90%	459	0.89%	0	▲ 0.01	(76)	京都信金	2	—	2	—	0	—
22 (22)	商工中金	331	0.65%	326	0.63%	▲ 5	▲ 0.02	(76)	富山第一	2	—	2	—	0	—
23 (23)	近畿大阪	304	0.59%	297	0.58%	▲ 7	▲ 0.01	(76)	鹿児島	2	—	2	—	0	—
24 (24)	百十四	229	0.45%	235	0.46%	6	0.01	(76)	西日本シティ	2	—	2	—	0	—
25 (25)	阿波	181	0.35%	188	0.36%	7	0.01	(76)	玉島信金	2	—	2	—	0	—
26 (28)	北おおさか信金	149	0.29%	155	0.30%	6	0.01	(76)	インドステイト	2	—	2	—	0	—
27 (27)	中国	152	0.30%	153	0.30%	1	0.00	(70)	ミレ信組	3	0.01%	2	—	▲ 1	—
28 (26)	ゆうちょ	153	0.30%	152	0.29%	▲ 1	▲ 0.01	(67)	日本政策投資	4	0.01%	2	—	▲ 2	—
29 (29)	関西アーバン	142	0.28%	150	0.29%	8	0.01	87 (—)	北国	0	—	1	—	1	—
30 (30)	山陰合同	126	0.25%	130	0.25%	4	0.00	(—)	スルガ	0	—	1	—	1	—
31 (31)	四国	104	0.20%	102	0.20%	▲ 2	0.00	(—)	宮崎	0	—	1	—	1	—
32 (32)	徳島	88	0.17%	90	0.17%	2	0.00	(—)	北海道信金	0	—	1	—	1	—
33 (36)	京都	74	0.14%	86	0.17%	12	0.03	(—)	朝日信金	0	—	1	—	1	—
34 (34)	伊予	79	0.15%	81	0.16%	2	0.01	(—)	興産信金	0	—	1	—	1	—
35 (33)	兵庫ひまわり信組	84	0.16%	79	0.15%	▲ 5	▲ 0.01	(89)	道銀	1	—	1	—	0	—
36 (35)	トマト	77	0.15%	76	0.15%	▲ 1	0.00	(89)	筑波	1	—	1	—	0	—
37 (37)	大正	55	0.11%	55	0.11%	0	0.00	(89)	千葉	1	—	1	—	0	—
38 (39)	近畿産業信組	43	0.08%	45	0.09%	2	0.01	(89)	横浜	1	—	1	—	0	—
39 (38)	大阪協栄信組	47	0.09%	42	0.08%	▲ 5	▲ 0.01	(89)	十六	1	—	1	—	0	—
40 (41)	鳥取信金	38	0.07%	41	0.08%	3	0.01	(89)	百五	1	—	1	—	0	—
41 (40)	広島	42	0.08%	38	0.07%	▲ 4	▲ 0.01	(89)	親和	1	—	1	—	0	—
42 (43)	大阪信金	33	0.06%	37	0.07%	4	0.01	(89)	オリックス	1	—	1	—	0	—
43 (42)	漁協	34	0.07%	32	0.06%	▲ 2	▲ 0.01	(89)	シーエーイー・セカンド・エクス バンク・インテグレーション・アジア	1	—	1	—	0	—
44 (44)	三井住友信託	32	0.06%	28	0.05%	▲ 4	▲ 0.01	(89)	兆豊国際商業	1	—	1	—	0	—
45 (46)	大阪シティ信金	26	0.05%	27	0.05%	1	0.00	(89)	バンコック	1	—	1	—	0	—
46 (45)	日本政策金融公庫	27	0.05%	26	0.05%	▲ 1	0.00	(89)	長野	1	—	1	—	0	—
47 (47)	北陸	25	0.05%	24	0.05%	▲ 1	0.00	(89)	宮崎太陽	1	—	1	—	0	—
48 (48)	山口	23	0.04%	23	0.04%	0	0.00	(89)	インテグザ・サンパオロ	1	—	1	—	0	—
49 (49)	ジャパンネット	17	0.03%	21	0.04%	4	0.01	(89)	さわやか信金	1	—	1	—	0	—
50 (49)	労働金庫	17	0.03%	16	0.03%	▲ 1	0.00	(89)	飯田信金	1	—	1	—	0	—
51 (51)	楽天	12	0.02%	13	0.03%	1	0.01	(89)	北伊勢上野信金	1	—	1	—	0	—
52 (51)	兵庫県医療信組	12	0.02%	12	0.02%	0	0.00	(89)	萩山口信金	1	—	1	—	0	—
53 (55)	紀陽	8	0.02%	10	0.02%	2	0.00	(76)	七十七	2	—	1	—	▲ 1	—
(53)	みずほ信託	9	0.02%	10	0.02%	1	0.00	(76)	八十二	2	—	1	—	▲ 1	—
55 (55)	大阪厚生信金	8	0.02%	9	0.02%	1	0.00	(76)	西京	2	—	1	—	▲ 1	—
56 (58)	南都	7	0.01%	8	0.02%	1	0.01	(76)	愛媛	2	—	1	—	▲ 1	—
(53)	信金中央金庫	9	0.02%	8	0.02%	▲ 1	0.00	(70)	香川	3	0.01%	1	—	▲ 2	—
58 (70)	大阪商工信金	3	0.01%	7	0.01%	4	0.00								

※()内は前年順位

3. 地区別分析

神戸市に本店を置く企業1万7328社のメインバンクは、1位が**三井住友銀行**の4795社（前年比71社減）でシェアは27.67%（0.52ポイント減）となった。2位は**みなと銀行**の2987社（26社減）でシェアは17.24%（0.22ポイント減）、3位は**三菱UFJ銀行**の1156社（16社減）でシェアは6.67%（0.12ポイント減）となった。

順位	金融機関名	2017年	2018年		社数 増減	シェア 増減
		社数	社数	シェア		
1 (1)	三井住友	4,866	4,795	27.67%	▲ 71	▲ 0.52
2 (2)	みなと	3,013	2,987	17.24%	▲ 26	▲ 0.22
3 (3)	三菱UFJ	1,172	1,156	6.67%	▲ 16	▲ 0.12
4 (4)	神戸信金	1,049	1,060	6.12%	▲ 11	0.04
5 (5)	日新信金	954	952	5.49%	▲ 2	▲ 0.04
6 (6)	みずほ	679	670	3.87%	▲ 9	▲ 0.06
7 (7)	りそな	581	565	3.26%	▲ 16	▲ 0.11
8 (8)	兵庫信金	543	542	3.13%	▲ 1	▲ 0.02
9 (9)	但馬	441	440	2.54%	▲ 1	▲ 0.02
10 (10)	姫路信金	413	428	2.47%	▲ 15	0.08

※()内は前年順位

上位3行を含め10行中8行が社数・シェアとも前年より落とすなか、前年より伸ばしたのは**姫路信用金庫**（0.08ポイント増）**神戸信用金庫**（0.04ポイント増）の2行。

阪神南地区（尼崎市・西宮市・芦屋市）の企業8464社のメインバンクは、1位が**尼崎信用金庫**の2885社（63社増）で、シェアは34.09%（0.04ポイント増）となった。2位は**三井住友銀行**の1950社（33社増）で、シェアは23.04%（0.09ポイント減）、3位は**三菱UFJ銀行**の951社（14社増）で、シェアは11.24%（0.06ポイント減）となった。

順位	金融機関名	2017年	2018年		社数 増減	シェア 増減
		社数	社数	シェア		
1 (1)	尼崎信金	2,822	2,885	34.09%	63	0.04
2 (2)	三井住友	1,917	1,950	23.04%	33	▲ 0.09
3 (3)	三菱UFJ	937	951	11.24%	14	▲ 0.06
4 (4)	りそな	387	385	4.55%	▲ 2	▲ 0.12
5 (5)	みなと	364	365	4.31%	1	▲ 0.08
6 (6)	池田泉州	189	204	2.41%	15	0.13
7 (7)	みずほ	187	182	2.15%	▲ 5	▲ 0.11
8 (8)	近畿大阪	139	137	1.62%	▲ 2	▲ 0.06
9 (9)	北おおさか信金	115	115	1.36%	0	▲ 0.03
10 (10)	但馬	91	92	1.09%	1	▲ 0.01

※()内は前年順位

10行中8行がシェアを落とすなか、**池田泉州銀行**が0.13ポイントシェアを伸ばした。

阪神北地区（伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・川辺郡）の企業4032社のメインバンクは、1位が阪神南地区と同じく**尼崎信用金庫**の1017社（38社増）で、シェアは25.22%（0.26ポイント増）となった。2位は**三井住友銀行**の803社（4社減）で、シェアは19.92%（0.66ポイント減）、3位は**池田泉州銀行**の550社（15社増）、シェアは13.64%（前年同数）となった。

順位	金融機関名	2017年	2018年		社数 増減	シェア 増減
		社数	社数	シェア		
1 (1)	尼崎信金	979	1,017	25.22%	38	0.26
2 (2)	三井住友	807	803	19.92%	▲ 4	▲ 0.66
3 (3)	池田泉州	535	550	13.64%	15	0.00
4 (4)	三菱UFJ	351	359	8.90%	8	▲ 0.05
5 (5)	りそな	192	198	4.91%	6	0.01
6 (6)	みなと	191	190	4.71%	▲ 1	▲ 0.16
7 (7)	中兵庫信金	107	113	2.80%	6	0.07
8 (8)	但馬	99	103	2.55%	4	0.03
9 (9)	みずほ	68	71	1.76%	3	0.03
10 (10)	近畿大阪	57	59	1.46%	2	0.01

※()内は前年順位

県内ランキング1位の**三井住友銀行**と2位の**みなと銀行**がシェアを落とす一方、**尼崎信用金庫**に次いで**中兵庫信用金庫**が0.07ポイント増とシェアを伸ばした。

東播磨地区（明石市・加古川市・高砂市・加古郡）の企業 4866 社のメインバンクは、1 位が**三井住友銀行**の 889 社（16 社減）でシェアは 18.27%（0.40 ポイント減）となった。2 位は**みなと銀行**の 789 社（4 社増）でシェアは 16.21%（0.01 ポイント増）、3 位は**但陽信用金庫**の 695 社（26 社増）でシェアは 14.28%（0.48 ポイント増）となった。

但陽信用金庫が大きくシェアを伸ばす一方、**播州信用金庫**は 0.34 ポイント減となった。

東播磨						
順位	金融機関名	2017年	2018年		社数増減	シェア増減
		社数	社数	シェア		
1 (1)	三井住友	905	889	18.27%	▲ 16	▲ 0.40
2 (2)	みなと	785	789	16.21%	▲ 4	▲ 0.01
3 (3)	但陽信金	669	695	14.28%	▲ 26	▲ 0.48
4 (4)	日新信金	447	456	9.37%	▲ 9	▲ 0.15
5 (5)	姫路信金	410	420	8.63%	▲ 10	▲ 0.17
6 (6)	播州信金	331	316	6.49%	▲ 15	▲ 0.34
7 (7)	但馬	168	170	3.49%	▲ 2	▲ 0.02
8 (8)	三菱UFJ	163	157	3.23%	▲ 6	▲ 0.13
9 (9)	西兵庫信金	138	139	2.86%	▲ 1	▲ 0.01
10 (10)	兵庫信金	116	119	2.45%	▲ 3	▲ 0.06

※()内は前年順位

北播磨地区（三木市・小野市・加西市・西脇市・加東市・多可郡）の企業 3164 社のメインバンクは、1 位が**みなと銀行**の 759 社（18 社増）でシェアは 23.99%（0.38 ポイント増）となり、10 地区で唯一の 1 位となった。2 位は**三井住友銀行**の 644 社（23 社減）でシェアは 20.35%（0.90 ポイント減）、3 位は**兵庫県信用組合**の 449 社（9 社増）でシェアは 14.19%（0.17 ポイント増）となった。

みなと銀行のほか**日新信用金庫**が 0.33 ポイント増、**中兵庫信用金庫**が 0.31 ポイント増とそれぞれシェアを伸ばす一方、**三井住友銀行**が大きく落とした。

北播磨						
順位	金融機関名	2017年	2018年		社数増減	シェア増減
		社数	社数	シェア		
1 (1)	みなと	741	759	23.99%	▲ 18	▲ 0.38
2 (2)	三井住友	667	644	20.35%	▲ 23	▲ 0.90
3 (3)	兵庫県信組	440	449	14.19%	▲ 9	▲ 0.17
4 (4)	中兵庫信金	270	282	8.91%	▲ 12	▲ 0.31
5 (5)	日新信金	211	223	7.05%	▲ 12	▲ 0.33
6 (6)	農協	170	165	5.21%	▲ 5	▲ 0.21
7 (7)	但馬	135	135	4.27%	▲ 0	▲ 0.03
8 (8)	播州信金	123	116	3.67%	▲ 7	▲ 0.25
9 (9)	姫路信金	105	107	3.38%	▲ 2	▲ 0.03
10 (10)	但陽信金	46	45	1.42%	▲ 1	▲ 0.05

※()内は前年順位

中播磨地区（姫路市・神崎郡）の企業 6399 社のメインバンクは、1 位が地元姫路市に本店を置く**姫路信用金庫**の 1572 社（4 社増）でシェアは 24.57%（0.01 ポイント減）となり、2 位も同じく姫路本店の**播州信用金庫**が 834 社（4 社減）でシェアは 13.03%（0.11 ポイント減）となった。3 位は**三井住友銀行**の 800 社でシェアは 12.50%（0.04 ポイント増）となった。

西兵庫信用金庫が 0.31 ポイントシェアを伸ばす一方、**兵庫信用金庫**は 0.21 ポイント減となった。

中播磨						
順位	金融機関名	2017年	2018年		社数増減	シェア増減
		社数	社数	シェア		
1 (1)	姫路信金	1,568	1,572	24.57%	▲ 4	▲ 0.01
2 (2)	播州信金	838	834	13.03%	▲ 4	▲ 0.11
3 (3)	三井住友	795	800	12.50%	▲ 5	▲ 0.04
4 (4)	但陽信金	744	755	11.80%	▲ 11	▲ 0.13
5 (5)	兵庫信金	686	675	10.55%	▲ 11	▲ 0.21
6 (6)	西兵庫信金	535	557	8.70%	▲ 22	▲ 0.31
7 (7)	みなと	367	364	5.69%	▲ 3	▲ 0.06
8 (8)	三菱UFJ	151	151	2.36%	▲ 0	▲ 0.01
9 (9)	但馬	104	106	1.66%	▲ 2	▲ 0.03
10 (10)	みずほ	80	83	1.30%	▲ 3	▲ 0.05

※()内は前年順位

西播磨地区（たつの市・相生市・赤穂市・宍粟市・揖保郡・赤穂郡・佐用郡）の企業 2657 社のメインバンクは、1 位が地元宍粟市に本店を置く**西兵庫信用金庫**の 636 社（7 社減）でシェアは 23.94%（0.06 ポイント減）となった。2 位は**兵庫信用金庫**の 439 社（9 社減）でシェアは 16.52%（0.20 ポイント減）、3 位は**みなと銀行**の 435 社（3 社減）でシェアは 16.37%（0.02 ポイント増）となった。

最もシェアを伸ばしたのは、0.34 ポイント増の**姫路信用金庫**。

淡路地区（洲本市・淡路市・南あわじ市）の企業 1731 社のメインバンクは、1 位が地元洲本市に本店を置く**淡路信用金庫**の 663 社（3 社減）でシェアは 38.30%（0.38 ポイント減）となった。2 位は同じく洲本市本店の**淡陽信用組合**の 356 社（3 社増）でシェアは 20.57%（0.07 ポイント増）となり、3 位は**みなと銀行**の 343 社（3 社減）でシェアは 19.82%（0.27 ポイント減）となった。

なお、地元本店の 2 行のシェアは 58.87%と 3 年連続で 60%を割り込んだ。

丹波地区（丹波市・篠山市）の企業 1102 社のメインバンクは、1 位が地元丹波市に本店を置く**中兵庫信用金庫**の 676 社（1 社減）でシェアは 61.34%（0.66 ポイント減）となった。2 位は**みなと銀行**の 111 社（3 社減）でシェアは 10.07%（0.37 ポイント減）、3 位は**三井住友銀行**の 104 社（2 社増）でシェアは 9.44%（0.10 ポイント増）となった。

上位 2 行がシェアを落とす一方、**但馬銀行**が 0.43 ポイント伸ばした。

西播磨						
順位	金融機関名	2017年 社数	2018年		社数 増減	シェア 増減
			社数	シェア		
1 (1)	西兵庫信金	643	636	23.94%	▲7	▲0.06
2 (2)	兵庫信金	448	439	16.52%	▲9	▲0.20
3 (3)	みなと	438	435	16.37%	▲3	0.02
4 (4)	姫路信金	247	254	9.56%	▲7	0.34
5 (5)	三井住友	237	230	8.66%	▲7	▲0.19
6 (6)	播州信金	208	204	7.68%	▲4	▲0.08
7 (7)	農協	112	108	4.06%	▲4	▲0.12
8 (8)	兵庫県信組	82	87	3.27%	▲5	0.21
9 (9)	中国	56	54	2.03%	▲2	▲0.06
10 (9)	淡陽信組	56	53	1.99%	▲3	▲0.10

※()内は前年順位

淡路						
順位	金融機関名	2017年 社数	2018年		社数 増減	シェア 増減
			社数	シェア		
1 (1)	淡路信金	666	663	38.30%	▲3	▲0.38
2 (2)	淡陽信組	353	356	20.57%	▲3	0.07
3 (3)	みなと	346	343	19.82%	▲3	▲0.27
4 (4)	三井住友	206	201	11.61%	▲5	▲0.35
5 (5)	徳島	68	69	3.99%	▲1	0.04
6 (6)	農協	21	22	1.27%	▲1	0.05
7 (7)	関西アーバン	9	9	0.52%	0	0.00
8 (8)	三菱UFJ	5	6	0.35%	▲1	0.06
9 (10)	阿波	3	5	0.29%	▲2	0.12
(10)	ゆうちょ	3	5	0.29%	▲2	0.12

※()内は前年順位

丹波						
順位	金融機関名	2017年 社数	2018年		社数 増減	シェア 増減
			社数	シェア		
1 (1)	中兵庫信金	677	676	61.34%	▲1	▲0.66
2 (2)	みなと	114	111	10.07%	▲3	▲0.37
3 (3)	三井住友	102	104	9.44%	▲2	0.10
4 (4)	兵庫県信組	52	53	4.81%	▲1	0.05
5 (5)	農協	48	46	4.17%	▲2	▲0.23
6 (6)	但馬	29	34	3.09%	▲5	0.43
7 (7)	りそな	12	11	1.00%	▲1	▲0.10
8 (8)	三菱UFJ	10	10	0.91%	0	▲0.01
9 (11)	尼崎信金	5	6	0.54%	▲1	0.08
(9)	みずほ	7	6	0.54%	▲1	▲0.10
(9)	商工中金	7	6	0.54%	▲1	▲0.10

※()内は前年順位

但馬地区（豊岡市・養父市・朝来市・美方郡）の企業1854社のメインバンクは、1位が豊岡市に本店を置く**但馬銀行**の909社（19社減）でシェアは49.03%（0.54ポイント減）となった。2位は同じく地元本店の**但馬信用金庫**の648社（5社減）でシェアは34.95%（0.07ポイント増）となった。

地元2行でのシェアは0.48ポイントの減少となっているが83.98%と高く、依然として寡占状態が続いている。

なお、**鳥取信用金庫**がシェアを0.18ポイント伸ばし、**みなと銀行**と並んで3位となった。

但馬						
順位	金融機関名	2017年	2018年		社数増減	シェア増減
		社数	社数	シェア		
1 (1)	但馬	928	909	49.03%	▲19	▲0.54
2 (2)	但馬信金	653	648	34.95%	▲5	0.07
3 (4)	鳥取信金	38	41	2.21%	3	0.18
(3)	みなと	40	41	2.21%	1	0.07
5 (8)	農協	33	36	1.94%	3	0.18
(7)	但陽信金	34	36	1.94%	2	0.12
(6)	兵庫県信組	35	36	1.94%	1	0.07
8 (4)	三井住友	38	34	1.83%	▲4	▲0.20
9 (9)	漁協	25	24	1.29%	▲1	▲0.05
10 (10)	山陰合同	16	17	0.92%	1	0.07

※()内は前年順位

4. 業種別分析

全業種において、1位**三井住友銀行**、2位**みなと銀行**に変化はなかった。

建設業では、**尼崎信用金庫**がシェアを0.19ポイント伸ばしたほか、**姫路信用金庫**と**但陽信用金庫**がそれぞれ0.11ポイント増とした。一方、**みなと銀行**は0.29ポイント減、**兵庫信用金庫**も0.19ポイント減、**三井住友銀行**と**播州信用金庫**も0.17ポイント減と、それぞれシェアを落とした。

製造業では、**尼崎信用金庫**が0.28ポイント増となったほか、**兵庫県信用組合**が0.15ポイント増、**日新信用金庫**が0.13ポイント増とシェアを伸ばした。一方、**三井住友銀行**が0.46ポイント減となり、**姫路信用金庫**も0.15ポイント減となった。

卸売業では、**三菱UFJ銀行**が0.16ポイント増となったほか、**尼崎信用金庫**と**日新信用金庫**が0.11ポイント増とシェアを伸ばした。一方、**みなと銀行**と**りそな銀行**が0.16ポイント減となった。

小売業では、**尼崎信用金庫**、**兵庫信用金庫**、**池田泉州銀行**がそれぞれ0.16ポイント増とシェアを伸ばした。一方、**三井住友銀行**は0.36ポイントの減少となった。

不動産業では、トップ10のうちシェアを伸ばしたのは8位の**姫路信用金庫**が0.01ポイント増となったのみで、**尼崎信用金庫**は0.51ポイント減、**三井住友銀行**が0.44ポイント減、**播州信用金庫**が0.39ポイント減とそれぞれシェアを落とした。

運輸・通信業では、**日新信用金庫**が0.44ポイント増となったほか、**みなと銀行**が0.27ポイント増、**三菱UFJ銀行**が0.19ポイント増と、それぞれシェアを伸ばした。一方、**三井住友銀行**は0.71ポイント減、**姫路信用金庫**が0.30ポイント減、**但馬銀行**が0.26ポイント減とそれぞれシェアを落とした。

サービス業では、**尼崎信用金庫**が0.19ポイント増とシェアを伸ばす一方、**三井住友銀行**は0.34ポイント減、**三菱UFJ銀行**が0.15ポイント減と、それぞれシェアを落とした。



特別企画：第16回兵庫県メインバンク調査

建設業						
順位	金融機関名	2017年 社数	2018年 社数	シェア	社数 増減	シェア 増減
1 (1)	三井住友	2,326	2,360	14.86%	34	▲0.17
2 (2)	みなと	1,970	1,976	12.44%	6	▲0.29
3 (3)	尼崎信金	1,763	1,839	11.58%	76	0.19
4 (4)	姫路信金	1,099	1,146	7.21%	47	0.11
5 (5)	兵庫信金	814	806	5.07%	▲8	▲0.19
6 (7)	但馬信金	764	803	5.05%	39	0.11
7 (6)	播州信金	778	772	4.86%	▲6	▲0.17
8 (8)	但馬	708	708	4.46%	2	▲0.10
9 (9)	西兵庫信金	679	706	4.44%	27	0.05
10 (10)	日新信金	528	533	3.36%	5	▲0.05
11 (11)	三菱UFJ	489	501	3.15%	12	▲0.01
12 (12)	中兵庫信金	476	490	3.08%	14	0.00
13 (13)	神戸信金	395	411	2.59%	16	0.04
14 (14)	淡路信金	346	353	2.22%	7	▲0.02
15 (15)	兵庫泉信組	300	310	1.95%	10	0.01
16 (16)	池田泉州	276	290	1.83%	14	0.05
17 (17)	りそな	266	277	1.74%	11	0.02
18 (18)	農協	218	212	1.33%	▲6	▲0.08
19 (19)	但馬信金	183	180	1.13%	▲3	▲0.05
20 (20)	淡路信組	171	177	1.11%	6	0.01

※()内は前年順位

製造業						
順位	金融機関名	2017年 社数	2018年 社数	シェア	社数 増減	シェア 増減
1 (1)	三井住友	1,177	1,136	19.89%	▲41	▲0.46
2 (2)	みなと	608	599	10.49%	▲9	▲0.02
3 (3)	三菱UFJ	429	420	7.35%	▲9	▲0.07
4 (4)	尼崎信金	394	405	7.09%	11	0.28
5 (5)	姫路信金	361	348	6.09%	▲13	▲0.15
6 (6)	但馬	222	226	3.96%	4	0.12
7 (7)	兵庫泉信組	219	225	3.94%	6	0.15
8 (9)	日新信金	187	192	3.36%	5	0.13
9 (8)	淡路信金	190	184	3.22%	▲6	▲0.07
10 (10)	播州信金	181	178	3.12%	▲3	▲0.01
11 (11)	兵庫信金	178	176	3.08%	▲2	0.00
12 (12)	みずほ	174	172	3.01%	▲2	0.00
13 (14)	但馬信金	154	155	2.71%	1	0.05
14 (13)	りそな	156	153	2.68%	▲3	▲0.02
15 (15)	中兵庫信金	147	146	2.56%	▲1	0.02
16 (16)	神戸信金	136	135	2.36%	▲1	0.01
17 (17)	西兵庫信金	110	108	1.89%	▲2	▲0.01
18 (19)	但馬信金	102	102	1.79%	0	0.03
19 (18)	商工中倉	109	100	1.75%	▲9	▲0.13
20 (20)	池田泉州	78	79	1.38%	1	0.03

※()内は前年順位

卸売業						
順位	金融機関名	2017年 社数	2018年 社数	シェア	社数 増減	シェア 増減
1 (1)	三井住友	1,667	1,650	24.70%	▲17	▲0.01
2 (2)	みなと	891	872	13.05%	▲19	▲0.16
3 (3)	三菱UFJ	568	573	8.58%	5	0.16
4 (4)	尼崎信金	466	469	7.02%	3	0.11
5 (5)	姫路信金	366	362	5.42%	▲4	▲0.01
6 (6)	みずほ	273	265	3.97%	▲8	▲0.08
7 (6)	りそな	273	260	3.89%	▲13	▲0.16
8 (8)	但馬	223	222	3.32%	▲1	0.01
9 (9)	日新信金	200	205	3.07%	5	0.11
10 (10)	播州信金	191	187	2.80%	▲4	▲0.03
11 (11)	兵庫信金	181	178	2.66%	▲3	▲0.02
12 (12)	淡路信金	160	161	2.41%	1	0.04
13 (13)	兵庫泉信組	145	143	2.14%	▲2	▲0.01
14 (14)	神戸信金	144	140	2.10%	▲4	▲0.03
15 (15)	西兵庫信金	110	106	1.59%	▲4	▲0.04
16 (16)	池田泉州	96	98	1.47%	2	0.05
17 (17)	但馬信金	88	84	1.26%	▲4	▲0.03
18 (18)	但馬信金	86	83	1.24%	▲3	▲0.03
19 (19)	中兵庫信金	77	77	1.15%	0	0.01
20 (20)	商工中倉	58	60	0.90%	2	0.04

※()内は前年順位

小売業						
順位	金融機関名	2017年 社数	2018年 社数	シェア	社数 増減	シェア 増減
1 (1)	三井住友	1,031	990	17.32%	▲41	▲0.36
2 (2)	みなと	783	769	13.46%	▲14	0.03
3 (3)	尼崎信金	425	426	7.45%	1	0.16
4 (4)	三菱UFJ	327	322	5.63%	▲5	0.02
5 (5)	姫路信金	321	316	5.53%	▲5	0.02
6 (6)	但馬	307	298	5.21%	▲9	▲0.05
7 (7)	日新信金	231	225	3.94%	▲6	▲0.02
8 (8)	兵庫信金	219	224	3.92%	5	0.16
9 (9)	播州信金	215	201	3.52%	▲14	▲0.17
10 (11)	中兵庫信金	188	183	2.85%	▲5	▲0.03
11 (10)	りそな	180	161	2.82%	▲19	▲0.27
12 (13)	兵庫泉信組	154	158	2.76%	4	0.12
13 (15)	神戸信金	152	154	2.69%	2	0.08
14 (12)	但馬信金	156	150	2.62%	▲6	▲0.06
15 (13)	淡路信金	154	147	2.57%	▲7	▲0.07
16 (16)	西兵庫信金	146	135	2.36%	▲11	▲0.14
17 (19)	池田泉州	111	118	2.06%	7	0.16
(17)	みずほ	123	118	2.06%	▲5	▲0.05
19 (18)	但馬信金	114	109	1.91%	▲5	▲0.05
20 (20)	淡路信組	68	64	1.12%	▲4	▲0.05

※()内は前年順位

不動産業						
順位	金融機関名	2017年 社数	2018年 社数	シェア	社数 増減	シェア 増減
1 (1)	三井住友	875	897	22.98%	22	▲0.49
2 (2)	みなと	519	531	13.60%	12	▲0.24
3 (3)	尼崎信金	380	377	9.66%	▲3	▲0.31
4 (4)	三菱UFJ	218	224	5.74%	6	▲0.10
5 (5)	播州信金	159	151	3.87%	▲8	▲0.09
6 (6)	日新信金	130	133	3.41%	3	▲0.07
7 (7)	りそな	128	132	3.38%	4	▲0.05
8 (8)	姫路信金	107	112	2.87%	5	0.01
9 (9)	みずほ	107	108	2.77%	1	▲0.09
10 (10)	兵庫信金	90	91	2.33%	1	▲0.08
11 (12)	但馬	87	89	2.28%	2	▲0.05
12 (11)	神戸信金	88	88	2.25%	0	▲0.11
13 (13)	池田泉州	64	67	1.72%	3	0.01
14 (14)	西兵庫信金	49	52	1.33%	3	0.02
15 (16)	但馬信金	35	38	0.97%	3	0.03
16 (18)	中兵庫信金	30	35	0.90%	5	0.10
(15)	淡路信金	37	35	0.90%	▲2	▲0.09
18 (19)	農協	29	33	0.85%	4	0.07
19 (19)	関西アーバン	29	32	0.82%	3	0.04
(17)	淡路信組	31	32	0.82%	1	▲0.01

※()内は前年順位

運輸・通信業						
順位	金融機関名	2017年 社数	2018年 社数	シェア	社数 増減	シェア 増減
1 (1)	三井住友	362	354	19.55%	▲8	▲0.71
2 (2)	みなと	232	240	13.25%	8	0.27
3 (3)	尼崎信金	131	130	7.18%	▲1	▲0.15
4 (4)	三菱UFJ	116	121	6.68%	5	0.19
5 (5)	姫路信金	109	105	5.80%	▲4	▲0.30
6 (6)	日新信金	81	90	4.97%	9	0.44
7 (7)	兵庫信金	66	68	3.75%	2	0.06
8 (8)	兵庫泉信組	64	66	3.64%	2	0.06
9 (9)	みずほ	61	63	3.48%	2	0.07
10 (10)	りそな	51	53	2.93%	2	0.08
11 (11)	中兵庫信金	49	51	2.82%	2	0.08
12 (13)	播州信金	46	44	2.43%	▲2	▲0.14
(12)	但馬	48	44	2.43%	▲4	▲0.26
14 (14)	神戸信金	39	42	2.32%	3	0.14
15 (16)	西兵庫信金	38	41	2.26%	3	0.13
16 (14)	但馬信金	39	39	2.15%	0	▲0.03
17 (17)	商工中倉	35	37	2.04%	2	0.08
18 (18)	淡路信金	23	24	1.33%	1	0.04
19 (19)	但馬信金	21	22	1.21%	1	0.03
20 (19)	淡路信組	21	21	1.16%	0	▲0.02

※()内は前年順位

サービス業						
順位	金融機関名	2017年 社数	2018年 社数	シェア	社数 増減	シェア 増減
1 (1)	三井住友	2,984	2,967	26.22%	▲17	▲0.34
2 (2)	みなと	1,326	1,328	11.74%	2	▲0.06
3 (3)	三菱UFJ	659	647	5.72%	▲12	▲0.13
4 (4)	尼崎信金	607	633	5.59%	26	0.19
5 (5)	但馬	385	385	3.40%	0	▲0.03
6 (7)	姫路信金	372	383	3.38%	11	0.07
7 (6)	播州信金	373	369	3.26%	▲4	▲0.06
8 (9)	日新信金	280	283	2.50%	3	0.01
9 (8)	兵庫信金	284	279	2.47%	▲5	▲0.06
10 (10)	但馬信金	270	276	2.44%	6	0.04
11 (11)	りそな	264	264	2.33%	0	▲0.02
12 (12)	農協	215	217	1.92%	2	0.01
13 (14)	中兵庫信金	210	209	1.85%	▲1	▲0.02
(13)	神戸信金	212	208	1.85%	▲3	▲0.04
15 (15)	西兵庫信金	185	190	1.68%	5	0.03
16 (17)	池田泉州	169	177	1.56%	8	0.06
(16)	みずほ	178	177	1.56%	▲1	▲0.02
18 (18)	但馬信金	159	167	1.48%	8	0.06
19 (19)	淡路信金	155	154	1.36%	▲1	▲0.02
20 (20)	兵庫泉信組	151	153	1.35%	2	0.01

※()内は前年順位

5. まとめ

今年で16回目となる兵庫県メインバンク調査では、ランキングのトップ10に順位変動はなかったものの、全国と同様にメガバンクシェアが低下していることに加え、地元地方銀行である但馬銀行とみなと銀行もシェアを落とした。一方、シェア拡大トップの尼崎信用金庫のほか、県内11信用金庫のうち7行がシェアを伸ばす結果となった。

兵庫県はその地理的条件から多様性に富むとされ、従来より言われている“ひょうご五国（摂津・播磨・但馬・丹波・淡路）”に加え、最近インターネット上では、多民族国家だったユーゴ

スラビアになぞらえて“ひょうごスラビア（7つの県境、6つの方言、5つの国、4つの新幹線駅、3つの空港、2つの海を持つ、1つの県）”とも称されるほどだ。この多様性がメインバンク調査においては県内金融環境にも影響を及ぼしており、県内第一地銀である但馬銀行の本店が日本海側の豊岡市にあるため、神戸市など瀬戸内側の地区でシェアが高くない。また、県内に信用金庫が11行も存在し、阪神南地区や中播磨地区など10地区中6地区で地元本店を置く信用金庫がシェアトップを誇る。さらに、7つの県境を持つことから隣接する大阪府・岡山県・香川県などをはじめ、関西エリアはもちろん、中国・四国・山陰などからの各府県に本店を置く地方銀行が古くから進出しており、県内金融機関としてのぎを削ってきた。

現在の地域金融機関を取り巻く環境は、少子高齢化による地域人口の減少や経済の縮小、長期化するマイナス金利政策を背景に、預金を貸し出しに回して利ざやを得る銀行本来の事業において収益を上げにくい状況にある。こうしたなか、金融庁の有識者会議がまとめた報告書によると、人口減少など経営環境の悪化で地方銀行が1行のみでも存続が難しいとする地域は、東京都を除く道府県中23県にも上ると試算した。全国の地方銀行・第二地銀をはじめとした地域金融機関の数が、地域人口や経済規模を上回るいわゆる「オーバーバンキング」状態で、過度な競争を招いていると指摘されており、今後は店舗統廃合などの合理化やシナジー発揮による金融サービスの向上などが進むものと見られる。

こうしたなか、全国的には地方銀行の合併が相次いでいるが、長らく金融再編の空白地となっていた兵庫県においても、昨年に県内シェア2位のみなと銀行が、関西アーバン銀行と近畿大阪銀行と経営統合し、りそなホールディングス傘下となる関西みらいフィナンシャルグループの一員となることを選択しており、今後の動向に注目が集まるところだ。経営統合を進める金融機関のなかには、グループ内で連携した金融サービスを充実させるほか、付加価値の高いサービスにより金利反転に向けた取り組みをスタートし、新たなビジネスモデルの構築することで過剰な金利競争からの脱却を図っており、経営環境が大きく変化している金融業界にあって、この成否によっては企業がメインバンクを再選択する可能性も出てくるであろう。

【内容に関する問い合わせ先】

(株) 帝国データバンク 神戸支店 担当:松田

TEL 078-331-7024 FAX 078-393-2734

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。